



乙女中ブロック小中一貫教育研究校だより

# おしあお

令和5年度 第1号  
令和5年11月16日発行  
4校共同編集発行  
小山市立乙女小学校  
小山市立下生井小学校  
小山市立網戸小学校  
小山市立乙女中学校

令和5年度の乙女中ブロック小中一貫教育の活動は、感染症防止等の対策を講じながら徐々にコロナ禍以前の活動を実施していく計画です。第1号では、前半でどのような活動をしてきたのか、その様子をお知らせいたします。

## 乙女中ブロック小中一貫教育推進委員会 5/9(火)

校長・教頭・教務主任・各専門部会部会長が乙女小学校に集まりました。昨年度の事業の成果等について振り返るとともに、今年度の事業の確認やそれぞれの活動についての話し合いをしました。特に、今年度は学力向上の推進に向けて教科部会を創設、児童生徒指導部会から特別支援教育部会を独立など、組織の一部を改編があり、これらの活動についての協議も行いました。

## 乙女中ブロック小中一貫教育第1回全体研修会 6/14(水)

第1回全体研修会は乙女中学校を会場として、学区内全教員が参加して行いました。

まず始めに、各教科部会に分かれて授業参観をしました。その後、各教室において教科部会の話し合いをしました。ここでは、各教科の最重点項目についての確認をしました。最後に白鷺ルームに集まり全体会を行いました。各部会からの報告の後、小山市教育委員会の小倉敦史先生、田村加奈子先生より、小中一貫教育のねらいや今後の方針について、ご指導をいただきました。

## 乙女中ブロック小中一貫教育第2回全体研修会、人権教育研修会 8/17(木)

間々田市民交流センター（しらさぎ館）に学区内全教員が集まり研修を行いました。

人権教育研修会では、「基底的指導を支える教職員の人権意識」という題で、小山市教育委員会の田村加奈子先生より、ワークショップを交えながら講話いただきました。



全体研修会では、教科部会に分かれて、各教科の最重点項目についての1学期の実施状況の確認（成果と課題等）、学習調査の結果の分析と2学期の実施内容の確認や話し合いをしました。



## 学力向上推進部会の取組について

新たに教科部会を設け、各教科部会を中心に下記の指導内容に重点をおき、協議連携を図っています。

◎各教科で語彙力を向上させることを目的として、的確に言葉の意味を捉えて理解し、表現する指導の充実

### 【指導内容と具体策】

○「語彙力」「語彙力向上」についての共通理解を図る。

- ・ねらいを明確にし、必要に応じてキーワードを活用しながら振り返りの質の向上を目指す。
- ・自分の考えを表現する場を計画的に設ける。
- ・ICTの効果的な活用を図り、基礎基本の定着や学力向上を目指す。
- ・小中のつながりを考え、系統性を踏まえた指導の積み重ねを意識する。

○各種調査問題の分析と結果の考察から具体策を立て、各教科で実施する。

- ・教科ごとに焦点をあてるポイントを決めて実践する。

○家庭学習の質の向上「親子ノーメディアデー」の実施（乙女中の定期テスト期間に合わせて）

- ①親子でゲーム（スマートフォンを含む）を控える。
- ②テレビ視聴を少なくする。（ニュース等、必要最小限にする。）
- ③家庭学習に取り組み、学力向上を目指す。

という取組を行っています。今後も、どうぞご協力をお願いいたします。

## 児童生徒指導部会の取組について

重点をおく指導内容として、「○進んでさわやかなあいさつをする ○時間を守る ○きまりの統一 ○情報交換や合同研修会を行う」の4つを掲げています。

### ○進んでさわやかなあいさつをする……

発達段階に応じた子どもの姿を共通認識し、各校であいさつ週間を設けたり、小中合同あいさつ運動を実施したりして指導の充実を図っています。

- (小1～小4)⇒進んであいさつ
- (小5～中1)⇒相手や場に応じたあいさつ
- (中2～中3)⇒意味や価値を理解したあいさつ

### ○時間を守る……

1分前着席の徹底や時計を見て自主的な行動ができるよう働きかけを行っています。

- (小1～小4)⇒時間を守って行動
- (小5～中1)⇒時間に余裕をもって行動
- (中2～中3)⇒先を見通し、計画的に行動

### ○きまりの統一……

長期休業中のきまりについて見直ししながら統一を図ったり、SNS等の正しい利用の仕方の指導、啓発についての情報交換をしたり、共通理解を図っています。

### ○情報交換や合同研修会を行う……

教職員が一同に会する全体研修会で情報交換を行い児童生徒理解に努めています。



## 特別支援教育部会の取組について

昨年度までの「児童生徒指導部会・特別支援教育部会」から、今年度「特別支援教育部会」として独立しました。様々な困り感を抱える児童生徒一人一人が、自分のよいところを伸ばしながら学習・生活する力を身に付けることができるよう取り組んでいます。

重点をおく指導内容は以下の3点です。

- あいさつ・必要なコミュニケーションの力
- 時間の把握
- 時と場に応じた対応力

部会の話合いでは各校における特別支援教育の現状について情報交換をし、実態の把握や具体的な対応策について意見を交わしました。小中のギャップをできるだけ緩和した“つながり”のある指導・支援ができるよう、有効な対応策を検討する場にもなりました。

今後も各校が連携を密にしながら児童生徒の理解を深め、それぞれが安心感を高めながら学校生活を送ることができるよう取組の充実を図っていきます。



## 栄養士・養護教諭部会の取組について

今年度も各学校で継続して「立腰」に取り組んでいます。特に今年度は、毎授業開始前に立腰をすることで、落ち着いた状態で授業に臨むとともに、良い姿勢の習慣化を図っているところ です。



また、各校で行う学校保健委員会に、栄養士・養護教諭部会のメンバーが引き続き参加する予定です。

各校の健康課題を共有し、乙女中ブロックの児童生徒の健康課題を把握しながら、小中が連携して課題解決に取り組めるようにしたいと考えています。

